

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	町道 北下・長岡線 舗装補修工事<1>	吉岡町	6,026,400	4,513,000	

(備考)事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称																	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持管理	町道 北下・長岡線 補装補修工事<1>																	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	吉岡町																		
交付金事業実施場所	吉岡町大字北下地内																		
交付金事業の概要	舗装補修工事L=210.0m 表層工A=1,361.5m ²	区画線工 一式																	
総事業費	6,026,400	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	4,513,000 4,513,000																
交付金事業の成果目標	本町道は主要地方道高崎・渋川線ハイバスと町道小倉・陣場線(旧主要地方道高崎・渋川線)をつなぐ、重要な連絡道路となっており、通行車の往来が非常に多い路線である。このため、路面の損傷が激しく、周辺住民からは騒音・振動を改善するため、地域住民の生活環境改善を図るために路面の損傷が著しい箇所を補修することで、騒音・振動を解消する必要があります。																		
交付金事業の成果指標	今年度は本交付金を活用し、延長210m、面積1,361.5m ² の舗装補修を実施し、地域住民の生活環境改善のため、舗装補修実施割合16.4%を目指します。																		
交付金事業の成果及び評価	本交付金を活用することで本年度は、延長210m、面積1,361.5m ² の舗装補修工事を実施しました。舗装補修工事を実施したことにより、路面のクラックや轍掘れが解消され、地元住民から聞き取り調査を実施したところ、騒音・振動が大幅に低減されたことなどが確認されました。																		
交付金事業の契約の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>契約の目的</th> <th>契約の方法等</th> <th>契約の相手方</th> <th>契約金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舗装補修工事</td> <td>指名入札</td> <td>勝野建設株式会社</td> <td>6,026,400</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6,026,400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td>6,026,400</td> </tr> </tbody> </table>			契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額	舗装補修工事	指名入札	勝野建設株式会社	6,026,400				6,026,400		計		6,026,400
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額																
舗装補修工事	指名入札	勝野建設株式会社	6,026,400																
			6,026,400																
	計		6,026,400																
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当なし																

(備考)(1)事業ごとに作成すること。

- (2)番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3)交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4)交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5)交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6)交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (7)成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載